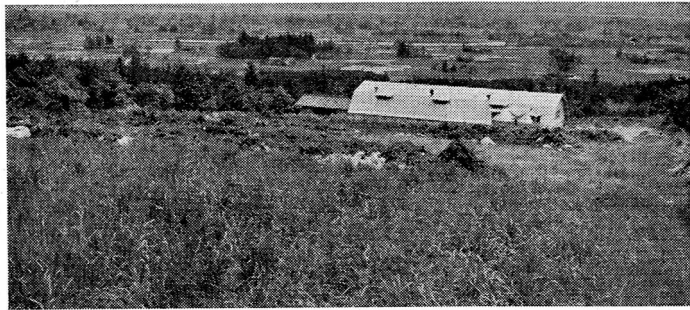


# 飼料作り北海道一を訪ねて

## 飼料作物の高度生産技術の究明

### —デントコーン・根菜類の部—



#### デントコーンの部

牧草や赤クローバー鋤込みで土地を作  
り、早蒔き励行で多収している

—十勝更別の菊地浅夫さん—

三浦 先日牧草についていろいろお伺い  
いたしました。今度はデントコーンの方  
に入りたいと思います。道東地方の十勝の  
更別の菊地さんを訪れた中原君お願いしま  
す。

中原 菊地さんのデントコーン作りを見  
に行ったわけですが、道東の濃霧の境界地  
帯でデントコーン 収量を一〇、〇〇〇キも  
上げたという菊地さんの圃場や耕種技術に  
ついて簡単に申し上げます、私の感じた所  
は、割合濃霧地帯であると言っても七月、  
八月の盛夏の頃の気温がかなり高いんで  
ないか。もう一つはあの辺一帯は火山灰地帯  
なんです、下層土が礫になっているんで  
すね。そのために水はけが良いので地温を  
高めるといふような、いわゆる地勢的にも  
割合恵まれているんでないかとも感じられ  
たわけです。

さらに菊地さんは非常に熱心な方でいろ  
いろと指導者と先輩の栽培技術を取入れ検  
討されています。

それに耕種では輪作体系が確立してお  
り、デントコーンの栽培に当っては、堆肥  
は使用していないが短期牧草の跡地とか、  
また赤クローバーの跡地にデントコーンを  
栽培しているので、肥料も大変少なく一〇  
ア当たり、硫酸一キ、過石四〇キ、硫加  
一キ蒔きしていました。あすこは火山灰土

#### 菊地さんの経営概況

経 営	面 積	家 畜 数	稼働人員
普通飼料	6 ha	搾乳牛 4頭	男 1人
畑 畑 他	4 ha	育成牛 1頭	女 1人
そ の 計	2.5ha	耕 馬 1頭	計 2人
計	12.5ha		

ですから、過石  
の四〇キは普通  
としましても硫  
安、加里が非常  
に少ないんです  
ね。これは緑肥  
の効果によるも  
のではないでし  
ようか。

もう一つ菊地  
さんのやってお  
られるのは早蒔  
きなんです。晩霜の被害の限界一杯の五  
月中旬頃播種しています。早蒔きするとい  
うのは秋、初霜の前に、切り込時に実を充  
実させることが必要だということ。多少の  
危険をおかしても早蒔きをしているという  
点ですね。それに栽植距離も畦幅六〇キ、  
株間四五キ、一本立て一〇ア当たり、三、六  
〇〇本で多少多いと思われました。品種は  
多収という点で大部分はエローデントを使  
っておりましたが、風による被害が多いの  
で複交五号を取り入れているということ  
があります。

三浦 栽植本数三、六〇〇株くらい立  
ているということ、もう一つは火山灰で燐  
酸吸収係数の高い土壌だと思わんですが、  
そこへ過石だけ蒔きして秋の下葉の枯上りの  
具合はどうですか。

中原 風で一部たおれた部分は下葉がい  
たんでいましたが、周りの倒れない部分で  
すと、ほとんど枯上っていませんでした。  
一代雑種の交互蒔きと青刈大豆の混

作て全道一の栄養生産量をあげた  
—北見市の越智健一さん—  
三浦 今度は北見の越智さんのお話を伊  
勢村君から伺いましょう。

伊勢村 越智さんは昭和三十五年度のデ  
ントコーン反当栄養生産量で全道一に選ば  
れた人です。

デントコーンの中に茶小粒を混播してお  
り、デントの品種はエローと複交七号を使  
っておりまして。これを三列ずつ交互に播  
種する方法です。畦幅九〇キ、株間四五キ  
くらいです。それで株数は二、六〇〇株く  
らいになるんじゃないですか。

この土壌はPH六・五で、もこの畑は川  
だった所です。だから土地は湿地なんです。  
しかし地力は相当ある所です。施肥量は基  
肥として、一〇ア当たり堆肥を二・二ト、尿  
一八〇キ、硫酸二〇キ、過石三〇キ、硫加



栄養生産をあげるために茶小粒を混播したデント  
(北見市 越智氏)

越智氏の経営概況

経営面積	家畜数	稼働人員	家畜施設
水田 1ha 畑 9ha 計 10ha	搾乳牛 8頭 育成牛 9頭 豚 8頭	男 2人 女 1人 計 3人	畜舎(木造) 1棟 サイロ 3基 厩場 1基 肥溜 1基 尿溜 1基

酪農、水田、畑作との三本立経営——越智氏

○水田0.7haを3年ごとに放牧地と田畑輪換

○畑9haの作付概況

馬鈴薯 40a	夏期の青刈採草地 180a
甜菜 40a	採草草地 300a
ライ麦 30a	デントコーン 200a
秋小麥 30a	家畜ビート 10a
カブ 40a	燕麥(牧混) 30a

互畦栽培、あるいは蛋白の高い荳科の茶小粒を混播しているというところですけれども、今度は道南の狩太で二年連続約一〇、〇〇〇キのデントコーンを取り入賞された千葉さんを訪ねた秋田君お願いします。

牧草跡地に堆肥を充分施せばデントコーンは多収出来るという

狩太町の千葉二郎さん——

秋田 千葉さんのデントコーンは、せつかく良く出来たのに台風のためほとんど全部倒れておりました。品種は複交系で、栽植距離は畦幅六〇キ、株間五

七キを施しています。これでデントコーンの生草量は七、八〇〇キくらいです。

三浦 デントコーンの三畦交互栽培に茶小粒が入っているようですが、どんな形に入っているんですか。

伊勢村 デントコーンの株の根もとです。

三浦 エローデントと複交七号は同じ株間でやっているんですか。

伊勢村 そうです。

三浦 それから一〇ア当たり一八〇キの尿をやっているんですが、いっどんな方法でやっているんですか。

伊勢村 播種前にポンプを使いホースでやるんです。

三浦 そうですか。越智さんの場合には栄養収量をあげるために、一代雑種との交

千葉さんの施肥及び栽培法

	1959年	1960年
基肥	23kg	27kg
硫過硫酸	40kg	30kg
ニッサン肥	15kg	12kg
燐尿	15kg	18kg
燐尿	—	20kg
品	—	900(5斤)
10a当り株立本数	227(大豆混)	227(大豆混)
10a当り青草収量	2,000本	3,400本
	8,674kg	9,890kg

註) 土質……植壤土  
PH……6.0

五キ、(一〇ア当たり約三、〇〇〇株)その間に茶小粒が黒田六尺を混播して蛋白を高めておりました。デントコーンは良く伸びていて一〇〜一二尺くらいありました。

肥料は考え方として、牧草二〜三年作った跡地に堆肥をたくさん入れて作れば立派なものが出るということで、三要素の具

体的なことはあまり考えていないと話しておられました。

三浦 千葉さんのやり方というのは、とにかく、デントコーンをたくさんとるためには、牧草の後に堆肥をたくさん入れて、有機質の多い所に作れば間違いということですね。

根菜の部

牧草の一年緑肥で地力を培養、堆肥は根菜に全量投入という徹底した地力主義で増収している

北檜山町の塚本真さん——

三浦 それではデントコーンをそのくらいにして、次は根菜の方に入ります。まず北檜山の豊岡の塚本さんをたずねた

塚本君一つ。

塚本 塚本さんの土地は瘠せていたので先ず地力培養を考え牧草地にタツプリ施肥、即ち、春、融雪後はなるべく早く草地化成二号を一〇ア当たり、三〇キ施し、二番刈後、硫酸一ニキ、過石一六キ、加里八キ追肥する。そして牧草を多収するとともにこれを一年利用で鋤込むという形で計画的な草地への施肥と短期輪作による牧草の鋤込みを一〇年間行ない地力をうんと向上させるのに成功しました。耕地を四等分し、えんばく、牧草、コーン、根菜という四年輪作形式です。

三浦 ビートの品種は何ですか。

塚本 シュガーマンゴールドとハーフエローが四分の一。この他原料ビートが四分の三です。

高橋氏の経営概況

経営面積	家畜数	稼働人員
畑 14.8ha 計 14.8ha	搾乳牛 3頭 育成牛 1頭 馬 1頭 豚 3頭 鶏 120羽 羊 4頭	2.5人

三浦 泥炭地という不良土壌地帯を克服して良いビートをとっている道央の剣淵の高橋忠夫さんの場合を佐々木君お願ひします。

佐々木 高橋忠夫さんの場合を佐々木君お願ひします。

高橋忠夫さんの場合を佐々木君お願ひします。

高橋忠夫さんの場合を佐々木君お願ひします。

塚本氏の経営概況

経営面積	家畜頭数	稼働人員
畑 6.3ha 計 6.3ha	搾乳牛 5頭 育成牛 2頭 計 7頭	男 1人 女 1人 計 2人

上ったということですが。

土地改良と多肥栽培で泥炭地でよく八、〇〇〇キ以上の多収を得ている

剣淵町の高橋忠夫さん——

三浦 泥炭地という不良土壌地帯を克服して良いビートをとっている道央の剣淵の高橋忠夫さんの場合を佐々木君お願ひします。

三浦 どちらが良かったですか。

岡田 家畜ビートではシュガーマンゴールドの方が良かったですね。

三浦 どのくらい本数を立てていますか。

岡田 六、九〇〇株くらいです。少し少ないようですが……前にも話をしましたが、徹底した短期輪作を続け、取れた堆肥はビート畑に投入して、栽培した結果、地力が増進し、ビートの収量が



よく病害虫の防除されている高橋忠夫氏の  
ビート畑（ハーフエロー）

二五彗、一〇畝当たり六、四〇〇株ぐらいです。播種期四月二五日、施肥量は堆肥が一〇畝当たり四、〇〇〇キ、複合肥料一〇〇キ、チリ硝石二〇〇キ、過石一〇〇キ、硫黄一〇〇キ、尿一、〇〇〇キ、一〇畝当たりの予想収量が八、〇〇〇キぐらい見込んでいます。

中原 薬剤散布は何回ぐらいですか。  
佐々木 三回ぐらいですね。

必ず酸度矯正（PH六・五）を行ない多収品種の利用、多肥、早播で一〇、〇〇〇キ口をとっている

—— 新得町の増田明さん ——

三浦 次は道東に移って新得町屈足の増田さんを尋ねた坂本君お願いします。

坂本 増田さんはビート作りで一〇、〇〇〇キの収量を上げた秘訣というのは、多収品種の利用、多肥料、適切な肥培管理が総合されて記録を作ったわけであるが、あ

増田氏の経営概況

経営面積	家畜数	家族	稼働人員
畑 13ha	搾乳牛 6頭 育成牛 5頭 耕馬 1頭		
	豚 2頭 鶏 30羽	10人	3人
計 13ha			

まり細かな計画は立てておらず、経験と感でやっていると言っていました。施肥量は硫酸三八キ、過石一キ、熔燐八キ、塩加八キ、堆肥三、七五〇キ。耕起する前に表土一八彗をPH六・五に保つために石灰を入れるそうです。火山灰土壌であるため、苦土欠を防ぐために熔燐を八キ入れたというのが施肥では注目すべき所ですね。播種期は五月五日頃、融雪が四月二十日頃で土が融けるのが四月下旬から五月の下旬になりますので五月五日というときぎりぎりの早蒔ということになります。発芽後、ヨトウ虫防除の薬剤散布を一回、六月上旬に間引、畦幅五四彗で株間二二彗です。除草を間引時とその後二〇日おきに二回、計三回、中耕を七月中旬頃と八月上旬頃の二回行ない八月上旬の時に追肥として尿素を一〇畝当たり二キぐらい施します。この地方はあまり病害が発生しない所で、特に病害はあまり出なく八月中旬頃に褐斑病の防除を一回行なうだけです。収穫は十月上旬頃です。

三浦 多収品種の利用が

増収の一手段となっていて、すが品種は何かを使っていますか。

坂本 一昨年はシニガー

輪作体系

区画	作物名	別反 (ha)
1	混播 燕牧	1.0
2	草 草	1.0
3	草 草	1.0
4	草 草	1.0
5	デントコーン	1.0
6	家畜ビート	1.0
7	(豆馬) 鈴薯	1.0
8	(自家) 園他	3.0

マンゴールド、昨年はハーフシニガーエローです。

三浦 わかりました。一〇、〇〇〇キ以上取った増田さんは必ず酸度矯正をやって、肥料をたくさんやって作っていると、それにとまたま病害の発生も少なく、それらが総合して多収したわけですね。

北村 牧草作りの名人の松永さんも上川で一、〇〇〇キとっているわけですが、松永さんはビートに堆肥を六、〇〇〇キ、尿が一、九〇〇キ施している。とにかく、現在六頭の牛を二反歩の家畜ビートで間に合せているんです。利用期間は十月から翌年五月までですね。そうすると一日に一八キ、二二四日給与しています。

七・八年の間隔を置いてルタバガを作っている

—— 中頓別町の荒田正夫さん ——

三浦 根菜で一カ所だけルタバガを作っている人の所を訪ねたわけですが、これは宗谷支庁管内の中頓別の荒田さんという方ですが金山君一つお願いします。

金山 荒田さんはルタバガ栽培で昭和三年に優秀な成績をおさめた人であります。ルタバガの面積は一五畝、土質は植壤

土であります。輪作体系は①燕麦、②牧草（五・六年利用）、③馬鈴薯、④ルタバガの順序でありました。輪作をして注意しているのは、なるべく遅く、七・八年目くらいにルタバガがまわって来るようにすることでした。今までは未だ同じ土地に二回栽培していません。品種はグリーントップ、施肥量は一〇畝当たり堆肥を二、五〇〇キ、硫酸一〇キ、過石一五キ、加里七キ、魚粕七キを施しています。追肥は間引直後、硫酸一五キ（一〇畝当たり）施しています。

栽植距離は畦幅四五彗、株間三〇彗、株数は一〇畝当たり七、二〇〇株。株数の多いところに多収のコツがあるように伺われました。間引は本葉三（四枚時、六月十日頃）ですね。中耕除草は三回行ない、播種期は五月十四日、一〇畝当たり約〇・四キで、病害虫防除はDDT（一・五キ）一〇畝当たり二キ、五月二十日に散布、これはジノミの防除。BHC（一キ）一〇畝当たり二キを四月二十八日と八月四日の二回行ないまして、これは、アブラムシ、アオムシ防除のために散布しております。またDDT水和剤を七月二十八日、八月四日アブラムシ、アオムシの防除。六斗式ポールドーを七月二十日散布、これは白腐病の防除のためでした。本年は天北地方は好天に恵まれて、各地で白腐病が多発しましたが荒田さんの圃場はさすがに被害が少なく、しかし、一時アブラムシにやられて、根の太りが去年より悪いようだとおっしゃっていました。収穫は十月十九日、貯蔵は普通家畜ビートと同様でした。